

みんなで春をつくろう



Kasuga

[市報 かすが] 平成30年8月15日号

掘り起こそう
笑顔あふれる
住みよいまち

かすが市民懇話会テーマ



かすが市民懇話会
市長に活動報告を進呈 (詳しくは2ページ)



- P02 かすが市民懇話会
- P04 誰にも優しいまちかすが
- P06 防ごう、高齢者の交通事故
- P08 豪雨災害対応報告
- P09 市からのお知らせ
- P13 トピックス
- P15 情報ひろば



かすが市民懇話会 市長に活動報告書を進呈



かすが市民懇話会は、市民の生の声や生活者の視点からの意見を市政運営に生かすため活動しています。その活動内容をまとめた「かすが市民懇話会（13期・14期）活動報告書」を井上市長に提出しました。

問い合わせ先
秘書広報課広報広聴担当
☎(584)1111 (代)
☎(584)1145

今年の年間テーマは「掘り起こそう 笑顔あふれる 住みよいまち」でした。

年間テーマに沿い、会員から出された5つのテーマについて、意見交換や提言を行いました。

テーマ①

地域で取り組む防災

▽災害対応カードゲームは春日市の具体的事例を含めた問題もあると良かった

テーマ②

コミュニティバス

▽行政がもっとPRに力を入れるべきでは
▽年齢層を絞って、利用者を増やす対策をしてはどうか

テーマ③

文化財を地域の宝に

▽奴国だけでなく、伊都国や邪馬台国と関連した説明や展示があった方がよい
▽近隣自治体へもPRを行った方がよい

テーマ④

地域(自治会)活性化

※春日市自治会連合会会長秋枝恵美さんが情報提供しました。

▽自治会活動にサポーターやアドバイザーが必要ではないか

▽自治会ごとに特色ある活動が必要ではないか

テーマ⑤

地方創生・人口減少対策

▽子どもから高齢者まで多世代が一緒に過ごす施設があればよい

▽家族参加型の婚活の場を提供してはどうか

※活動報告書は、市ウェブサイトでか市役所2階情報公開コーナーで見ることが出来ます。



退任する会員からのコメント

毎回参加者の皆さんと必死になって短い時間で頭をフル回転させて取り組んだことは、今思えば感動を覚えます。



いなが まさのり
稲永 正則 さん

おおた ゆい
大田 優初 さん



大学で「まちづくり論」を選んでいたため参加しました。今後も積極的にまちづくりに関わり、自分の暮らすまちを誇っていきたいと思います。

少子高齢化が進み、日本も深刻な時代を迎えています。私たちの提言を毎回肯定的に受け止めていただきありがとうございます。



おがわ たけなり
小川 全也 さん

座談会

7月9日、小嶋久英会長、川野康廣・原田美佐子副会長の3人が、市長へ報告書を進呈しました。



小嶋 久英 会長

市長 さすが市民懇話会の1年間の活動ありがとうございました。印象に残った活動はありましたか。

小嶋 防災をテーマに行った「クロスロードゲーム」ですね。昨年の豪雨災害の後で、皆さんの関心も高かったです。普段の懇話と違った雰囲気で、ゲームを通じて皆さんとコミュニケーションが取れましたし、災害時に自分がどのような行動をとるべきか、また他の人がどのように考えているかを知ることができました。「ペットを避難所へ連れて行くか」といった質問も答えは千差万別でした。



原田 美佐子 副会長

していただいた「自治会活性化」が非常に興味深かったです。「温故知新」とおっしゃっていましたが、まさに懇話会も経験豊富な高齢者の方の意見からフレッシュで無垢な若者の意見まで、色々な方の意見が聞けました。

川野 どの回も、行政から多くの情報をいただき大変勉強になりました。行政の課題は常に変化し、大変面白いと思いましたが、特に公務員を目指す若い会員にとっては、今後に生かせる内容だったのでと思います。

市長 懇話会の雰囲気はいかがでしたか。

小嶋 年齢や立場は関係なく、皆が自由に発言できるフラットな雰囲気でした。ときには市職員にとって耳の痛い話もあったかと思いますが、よりよい春日市を作ろうという方向性は緒だとうござい。

川野 これからは、むしろ若い人の意見

にこそ耳を傾けなければならないかもしれませんね。

原田 私は他市から転入してきた者ですが、出身がどうかなどは関係なく、皆ウエルカムな雰囲気が大変居心地よかったです。

市長 今後の抱負を聞かせてください。

小嶋 私は、任期を終えますが、今後まちづくりに関わっていきたいと思っています。また、どこかでお会いできるでしょうね。

原田 他市と比較しても、こんなに自治会組織がしっかりしている市はないと思います。さまざまな世代が集まる懇話会で、多様な声を拾っていききたいと思っています。

川野 出前トークや他の会合でも市政に関心を持つ人が増えてきたように思います。懇話会も負けずに、市の施策に役立つ提言ができればと思います。



川野 康廣 副会長

これからは、独居老人や認知症の見守りの他、若いファミリー層の転入につながる、子育てしやすいまちのPRが大切だと思います。



下川 智子 さん

早野 雅佳 さん



幅広い年齢層、普段接する機会の少ない方と深く話をすることができ、ものごとに対する視点の違いを知り、発見を新たにしました。

行政と自治会は密な関係が必要で、参加していない人をいかにして一人でも多く参加させられるか、微力ながら関わっていききたいです。



松尾 志郎 さん

松尾 光弘 さん



異なる経歴の方との意見交換で、見方考え方の違いを感じたことは有益でした。あえて言うなら、意見交換の時間が少なかつたのが残念です。

誰にも優しいまちですが

少子高齢化や核家族化などの進行に伴い、市でも孤立死などの問題が増えています。少しでも孤立死を防ぐためには、日頃から、家族や友人と連絡を取り合ったり、近所の人や地域などのつながりを作ることが大切です。

高齢者の1人暮らしが増加

市内高齢者の1人暮らしは約37000世帯、平成22年からの5年間で約10000世帯増加しているという結果が出ました(平成27年国勢調査)。

また、国が行った「高齢者の健康に関する意識調査」(平成24年)では、60歳以上の1人暮らしの人で、「孤立死(孤独死)」を身近な問題と感じている人の割合は4割を超えています。

市の取り組み

安心生活創造事業(地域支え合い活動)

市は、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、日頃の見守りや生活上の手助けが必要な人への支援を推進する活動を、社会福祉協議会とともに実施しています。

この活動は、自治会を主体とした地域での支え合い活動で、市の全ての自治会で実施しています。

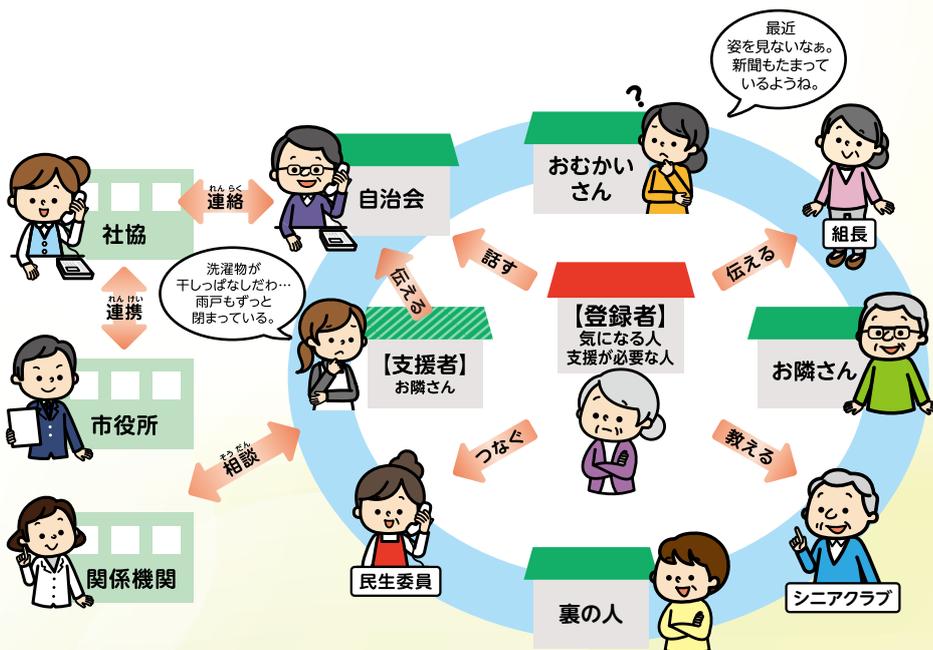
高齢や障がいなどで支援が必要な人に、「地域支え合いカード」などで、緊急連絡先や支援者(近所の人などを事前に登録してもらい、日常的な見守りや災害などの緊急時に備えた仕組みづくり)を推進しています。

みまもりホットライン

各家庭に定期的に訪問などを行っている新聞、郵便、生活協同組合など各事業所に協力を依頼し、訪問時に住民の異変を感じた場合の連絡先として、365日対応可能な「みまもりホットライン」を社会福祉協議会に設置しています。

いつもと様子が違うなどの理由で、市や社会福祉協議会などへ連絡があった場合、地域支え合いカードなどに登録されている情報に基づき、状況を確認します。

地域支え合い活動



問い合わせ先
事業全体と高齢者に関する
こと

- ▷ 高齢課高齢者支援担当
☎ (584) 1111(代)
☒ (584) 3090
- ▷ 春日市社会福祉協議会
☎ (581) 7225
☒ (581) 7258
- 障がい者に関すること
▷ 福祉支援課障がい担当
☎ (584) 1111(代)
☒ (584) 1154

地域支え合いカード



▲裏

▲表

- 主な内容例**
- ▽緊急連絡先
 - ▽家族状況
 - ▽体の状況や持病、障がいの程度など
 - ▽支援者(近所の人)
 - ▽緊急時や災害時のための情報(日頃付)

き合いのある人、日中過ごす場所や夜寝る場所など)

▽困りごと、希望することなど

▽関係機関へ情報を提供することへの同意

登録方法

自治会からの回覧で、登録の案内のチラシが回ります。チラシの内容をよく読んで、登録の方法を確認してください。

※地域支え合いカードの対象者やチラシの回覧の時期は、自治会によって異なります。住んでいる地区の自治会に確認してください。

登録したら

登録した人は、自治会の地域支え合い活動推進委員による訪問があったり、登録した人と支援者の交流会や学習会を行ったりしている地区もあります。

自治会によって、活動の内容はさまざまです。



▲訪問の様子



▲交流会

Q 支援者になった人(近所の人)は何をしただけの？

A

特別なことをするのではなく、日頃の生活の中での「気に掛け」や「声掛け(あいさつ)」などの見守りが必要です。近所に住んでいるからわかる小さな「気付き」があります。「いつもと様子が違うな」、「気になるな」と思ったら、住んでいる地区の自治会に連絡してください。

※この地域支え合い活動は、任意の協力によるものです。責任や義務を伴うものではありません。



▲同じ洗濯物が干しっぱなしになっている



▲ポストに郵便物やチラシが溜まっている



▲雨戸がずっと閉まっている



▲夜、明かりがついてない(周りの家はついている)

防ぼう、高齢者の交通事故

近年、市内の交通事故は減少してきていますが、交通事故全体に占める高齢者関連事故の割合は4分の1を超えるなど、むしろ増加傾向です。

昨年、春日警察署管内では4件の死亡事故が発生し、そのうち3件は高齢者が関連する事故でした。

高齢者特有の傾向を知る

人は年を取ると視力が低下したり、ものごとに対処するのに時間がかかったりするなど、身体機能や認知機能が変化して行くのは、当たり前のことです。

しかし、「このくらいなら大丈夫」という思いと、実際の行動が一致せず、高齢者が事故に遭うケースが増えています。

▽体力や平衡感覚が低下し、歩き方や自転車の乗り方などが不安定になる

▽クラクションの音などがよく聞こえず、危険に気付くのが遅れる

▽自分で思っている以上に歩く速度が遅くなっているため、横断歩道を渡っている途中で信号が赤に変わり、事故に遭う

▽自転車を避けようとしてもうまく体が動かず、転倒する

事故を防ぐために

高齢者の交通死亡事故の約半数は、道路横断中に発生しています。道路を横断する際には、次のことを徹底しましょう。



- 左右の安全をしっかりと確認する。
- 信号が青でも、右折や左折で交差点に進入してくる車があるため、周りをよく見る。
- 車道と歩道の段差などにも注意し、足元をよく確認する。



- 急に道路に出ると危険。歩道や路側帯など安全な場所で必ず一度止まる。
- 青信号が点滅し始めたときは、無理して横断しない。



- 夜間外出するときは、運転者からよく見えるよう、明るい色(白や黄色など)の服と反射材を着用する。



- 走ってくる車が見えたときは、車が通り過ぎるか止まるのを待つ。
- 信号を必ず守り、青になるのを待つ。

問い合わせ先

安全安心課防犯安全担当

☎ (584) 1111(代)

☎ (584) 11142

警察官が教える 交通安全のポイント

春日警察署交通第一課長川元真介かわもと しんすけさんに交通事故を防ぐポイントについて話を伺いました。

歩行者が横断歩道以外を横断していて事故に遭うケースが多数発生しています。斜め横断などをせず、道路を横断するときは、必ず横断歩道を利用してください。

また、自転車や歩行者の事故の多くは、自宅から100メートル以内で発生しています。いつも通る道だから大丈夫という過信は禁物です。

当たり前の交通ルールをきちんと守ることが、事故を防ぐことにつながります。車の運転をする人は特に、次のことを常に心掛けてください。

▽横断歩道付近では歩行者がいるかもしれないと考え、停止線の前で停止できるよう減速する

▽歩行者や自転車を早く発見できるように、夕暮れ時は早めにライトを点灯する

▽夜間の運転時は、必要に応じハイビームに切り替えるなどして視界を保つ



春日警察署交通第一課長 川元 真介 さん

- ▽夜間や雨の日は速度を落とす
- ▽交差点では特に、安全確認を徹底する
- ▽車間距離を長めにとる
- ▽体調が悪いときは運転をしない
- ▽運転中は、携帯電話やスマホ、カーナビの操作は絶対にしない

夏の交通安全街頭啓発を実施

7月10日、西鉄春日原駅前前で交通安全街頭啓発を実施しました。



高齢者運転免許証 自主返納支援事業

高齢運転者が増加する中、高齢者が事故の加害者となるケースも増えています。加齢により運転に不安が出てきたときなど、70歳以上の人が運転免許証を自主的に返納する場合、一定の支援(交通系ICカードの交付)をする制度があります。

この機会に、自家用車に頼らない生活について考えてみませんか。

① 運転免許証の自主返納

高齢者などからの申請により、公安委員会が免許を取り消します。

受付日時 平日の午前9時～午後4時

申請場所 春日警察署

持ってくるもの 運転免許証(有効期限内のものに限る)

※運転経歴証明書希望する場合は、別途手数料1100円と、証明写真(3cm×2.4cm)が必要です。

申請方法 本人が窓口で申請する

※返納後に発行される「申請による運転免許の取消通知書」は、市での支援申請時に必要です。

問い合わせ先 春日警察署(免許担当

窓口)

☎(5)884(0)110(代)

② 支援の申請手続き

運転免許証の自主返納日から6カ月以内に手続きが必要です。

対象 次の全ての条件を満たす人

▽自主返納日において、70歳以上の人

▽自主返納日および支援申請日において、市民である人(住民基本台帳に記録されている人)

受付日時 平日の午前8時30分～午後5時

申請場所 高齢課(市役所1階)

持ってくるもの

▽申請による運転免許の取消通知書(原本)

▽身分証明書(原本)

※取り消された運転免許証(返納時に希望者に交付)、運転経歴証明書、マイナンバーカード、健康保険証などいずれか1種類

▽印鑑(認印可)

支援内容 一モカ(交通系ICカード)5000円分を交付(一人1回限り)

※利用可能額4500円±デビット(預り金)5000円です。コミュニティバスやよい、西鉄バス・電車、JRなどで使えます。すでに持っているモカへのチャージは行いません。

申請方法 直接窓口で申請する(郵送不可)

※本人が窓口に来られない場合は、専用の委任状(任意様式不可)と窓口に来る人の身分証明書、印鑑(認印可)が必要です。

申請問い合わせ先 高齢課高齢者支援担

当

☎(5)84(1)111(代)

☎(5)84(3)090

平成
30年7月
豪雨災害

市の災害対応の 経過を報告します



平成30年7月豪雨では、台風7号や梅雨前線の影響に伴い、全国各地で甚大な被害が発生しました。県内では、7月5日の大雨警報に続き、7月6日には大雨特別警報が出されました。大雨特別警報は、数十年に一度の大雨により大規模な災害が起こる可能性があるとして、最大級の警戒を呼び掛けるものです。市内でも土砂崩れなどが発生する恐れがあり、一部地域に避難勧告を発令しました。災害対応の経過を報告します。

対応の経過

活発化した梅雨前線の影響に伴い、7月5日の夕方から7月6日の朝にかけて、県内に大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報が続けて発表されました。

市は、7月6日午前7時45分に災害初動対策室を設置し、土砂災害警戒区域の巡回パトロールや、自治会への連絡を行いました。

午前8時45分には災害対策本部を設置し、土砂災害警戒区域内の自治会に避難所を開設。その後、星見ヶ丘5丁目の一部や土砂災害警戒区域に避難勧告を発令。各家庭を訪問するなど避難を呼び掛けました。

午後5時10分には、県に大雨特別警報が発表され、最大級の警戒態勢となりました。

市内では、翌日の7月7日には大雨も収まり、土砂災害警戒情報、大雨特別警報、洪水警報が解除されました。

これに伴い、開設していた全ての避難所を閉鎖し、7月7日午後6時に災害対策本部を解散しました。

この間、7回の災害対策本部会議を実施して対応にあたり、市民の皆さんの安全確保に努めました。

避難所の状況

土砂災害などの危険により避難所を開設し、一時、22世帯42人が避難しました。

避難所開設公民館・避難者数

- ▽春日地区公民館：2世帯3人
- ▽ちくし台地区公民館：0人
- ▽昇町地区公民館：0人
- ▽紅葉ヶ丘地区公民館：2世帯2人
- ▽天神山地区公民館：1世帯2人
- ▽白水池地区公民館：5世帯9人
- ▽白水ヶ丘地区公民館：0人
- ▽塚原台地区公民館：0人
- ▽若葉台東地区公民館：2世帯3人
- ▽大土居地区公民館：0人
- ▽松ヶ丘地区公民館：7世帯17人
- ▽大谷地区公民館：2世帯5人
- ▽平田台地区公民館：1世帯1人

被害の状況

▽白水池が満水位となったことにより余水吐き（洪水吐き）から貯留水があふれ、一次的に大土居交差点付近が冠水しました。

▽ため池に隣接する宅地ののり面が、数カ所崩落しました。

▽天神山地区内で地すべりが発生しました。

た。
▽松ヶ丘地区内で土砂の流出が発生しました。

情報発信の状況

- 警報の発表などにあわせて、次のとおり情報発信を行いました。
- ▽市ウェブサイト
 - ▽市総合情報メール
 - ▽防災ツイッター
 - ▽防災メールまもるくん(英語版も)
 - ▽ヤフー防災
 - ▽プレスリリース

日頃の備え

災害はいつ起こるか分かりません。常に自分で自分の身を守るという意識を持ち、防災ガイドブックを参考に最低3日分の備蓄に努めてください。また、普段から家族や地域で避難経路や連絡手段の確認をしておきましょう。

※防災ガイドブックは、市ウェブサイトで確認できます。また、安全安心課窓□でも配布しています。

問い合わせ先 安全安心課消防防災担当

☎(5884) 1111(代)

☎(5884) 11143



8月25日～31日 飲酒運転撲滅週間

問い合わせ先 安全安心課防犯安全担当
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 1143

県内では昨年、126件の飲酒運転事故が発生し、このうち市内で発生した事故は3件です。

飲酒運転は重大な犯罪であり、罰金や懲役、運転免許の取り消し、会社の解雇など、非常に重い罰則や社会的制裁が課されます。

何より、被害者、加害者、そしてその家族の生活を大きく変えてしまいます。

「このくらいなら大丈夫」という軽はずみな行動が、人の命を奪うことにもなりかねません。

自分自身が飲酒運転をしないのはもちろん、周りの人にも絶対にさせないよう、徹底しましょう。

飲酒運転はしない!
させない!
許さない!
見逃さない!



所有者の責任で管理を ブロック塀の安全点検・診断をしてください

問い合わせ先 都市計画課計画担当
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 1143

6月18日に発生した大阪北部地震では、ブロック塀の倒壊による死亡事故が発生しました。

プライバシーの確保、防犯、防火など、私たちの暮らしを守る重要な役割を果たすブロック塀ですが、地震などによる災害時には、倒壊や落下など、命を脅かす危険なものへと変わってしまう場合があります。

ブロック塀は私的財産です。所有者の責任で管理し、安全点検を行ってください。

ブロック塀に関する相談・問い合わせ先

- ▷ (公社) 日本エクステリア建設業協会福岡県支部
支部長(株)小山千緑園
受付日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
☎ (673) 0401
- ▷ 全九州コンクリートブロック工業組合事務局
受付日時 月～金曜日 午前9時～午後3時
☎ (413) 1636



セアカゴケグモ(毒グモ)に注意 夏から秋にかけて活動が活発化

連絡・問い合わせ先
▷ 筑紫保健福祉環境事務所地域環境課
☎ (513) 5611 **F** (513) 5586
▷ 環境課生活環境担当
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 1147

特定外来生物に指定されている毒グモ「セアカゴケグモ」は、春日市を含む多数の県内市町で発見されています。夏から秋にかけて活動が活発化するため、注意が必要です。

発見したときは触らないようにし、関係機関に連絡してください。

特徴

- ▷ 体長は約1cm、全体は黒く、背に赤色の帯状の模様
- ▷ 攻撃性はなく、素手で触らない限りかまれることはない

生息場所

- ▷ 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のくぼみや穴、裏側、隙間など(自動車や室外機の裏、排

水溝の側面やふたの裏、植木鉢の裏、庭に置いた靴の中など)

防除方法など

- ▷ 発見した場合は、市販の家庭用殺虫剤で駆除する
- ▷ 清掃や花壇の手入れなど野外作業を行う場合は、長袖、長ズボン、手袋などを着用する
- ▷ 小さなお子どもが遊ぶ場合は、生息場所となるようなところに近づかないよう保護者が見守る

かまれた時の症状

- ▷ 針で刺したような痛みを感じ、発汗や吐き気などの症状が出ることもある
- ▷ かまれた場合でも、ほとんどが軽症で済むが、重症化するケースもある

かまれた場合の対処方法

- ▷ 温水やせっけんで傷口を洗い、病院で治療を受ける
- ▷ かんだクモの種類が分かるように、できればクモを殺して病院へ持参する



▲セアカゴケグモ



適正な受診を心がけてください 医療機関などの受診に当たっての注意点

問い合わせ先 国保医療課国保担当

☎ (584) 1111(代) ☎ (584) 1141

○休日・夜間の受診は必要最小限に

休日や夜間に軽症患者が救急医療を受診するケースが増加し、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたしています。

また、休日や夜間は医療費が高く設定されているので、窓口負担も高くなります。

休日や夜間に急病で困ったら、まず、救急医療電話相談や小児救急医療電話相談を利用しましょう(右表参照)。看護師が症状を聞き取り、症状に応じた適切な対処の仕方などのアドバイスをし、必要に応じて医師・小児科医も対応します。

○薬は適切な管理を

薬のもらいすぎに注意し、余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。

薬は飲み合せによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳を活用するなど、処方済みの薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせに注意しましょう。

○かかりつけ医を持つ

かかりつけの医師を持ち、気になることがあれば、まず、かかりつけの医師に相談しましょう。

同じ病気で複数の医療機関を受診することは控えましょう。医療費が増えるだけでなく、重複する検査や投薬によって体に悪影響を与えることがあります。現在の治療に不安があるときは、医師に伝えて話し合ってみましょう。

【救急医療電話相談】

電話番号	プッシュ回線	#7119
	ダイヤル回線	☎(471)0099
受付時間	24時間(年中無休)	

【小児救急医療相談】

電話番号	プッシュ回線	#8000
受付時間	▷平日:午後7時～翌朝7時	
	▷土曜日:正午～翌朝7時	
	▷日曜日・祝日:午前7時～翌朝7時	

※ダイヤル回線の場合

福岡市立こども病院相談窓口 ☎(661)0771

受付時間 午後7時～11時(年中無休)



利用してください 高齢者の総合相談窓口市地域包括支援センター

問い合わせ先 高齢課高齢者支援担当

☎ (558) 1205 ☎ (584) 3090

地域包括支援センターは、高齢者に関するさまざまな相談に応じます。

状況に応じ、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職員が、電話相談や訪問などの支援を行っています。本人や家族からの相談はもちろん、地域の人からの相談にも応じています。

主な相談内容・業務

- ▷介護の相談や悩みの他、福祉や医療などについて相談
- ▷高齢者の消費者被害、成年後見制度の利用に関する相談
- ▷高齢者虐待などの相談(通報)
- ▷要支援認定者などの介護予防の支援(ケアプラン作成など)

名称	住所・連絡先	担当地区
春日市北地域包括支援センター	桜ヶ丘4-23(徳洲会病院前) ☎(589)6227 ☎(589)6228	須玖南、弥生、小倉、昇町
		宝町、千歳町、若葉台東、光町、若葉台西、ちくし台、大谷、小倉東、大和町
春日市南地域包括支援センター	塚原台3-129(かすがの郷内) ☎(595)8188 ☎(595)6069	岡本、桜ヶ丘、須玖北、日の出町、サン・ビオ
		白水池、紅葉ヶ丘、松ヶ丘、惣利、塚原台、大土居、天神山
		上白水、下白水北、下白水南、泉、白水ヶ丘 春日原、春日原南、春日公園、春日、平田台



みんなでラグビーワールドカップ2019™を盛り上げよう 国内ラグビートップリーグ観戦ペアチケットプレゼント

応募・問い合わせ先 健康スポーツ課スポーツ担当 (〒816-0831大谷6-28)

☎ (571) 3247 📠 (571) 3305

✉ sports@city.kasuga.fukuoka.jp

市は、ラグビーワールドカップ(RWC)2019™大会の公認チームキャンプ地に正式決定しました。

2019年9月22日頃から、敗者復活予選優勝チーム、アイルランド代表チームの順にキャンプを実施します。

これを記念し、より多くの人にラグビーを見てもらうため、国内トップリーグの観戦チケットをプレゼントします。

まだラグビーを観戦したことがない人も、ぜひこの機会に本物のラグビーを観戦してください。

※当日は、キャンプ地デーとして、春日市のPRブースを設置予定です。

開催日時 9月15日(土)

午後4時30分～

場所 東平尾公園博多の森球技場(福岡市博多区東平尾公園2-1-1)

募集定員 10組20人

※応募多数の場合は抽選し、当選者にのみチケットを発送します。

試合

▷宗像サニックス対NECグリーンロケッツ

▷コカ・コーラレッドスパークス対リコーブラックラムズ

※2試合観戦することができます。

応募方法 8月27日(月)(必着)までに、はがき、ファックス、Eメールのいずれかで、「ラグビー観戦ペアチケットプレゼント希望」と記入し、代表者の住所・氏名・電話番号を連絡する



各小学校で誰でも授業参観できます 外国語活動オープン・スクール

問い合わせ先 学校教育課学校教育担当

☎ (584) 1111(代) 📠 (584) 1153

市内全ての小学校で、1～6年生の外国語活動(英語)を実施しています。

外国語活動の取り組みを広く知ってもらうため、各小学校で外国語活動のオープン・スクール(授業参観)を行います。

※上履きを持ってきてください。

小学校外国語活動オープン・スクール日程

学 校	開催日	開始時間	学 年	駐車場
天神山小学校	8月31日(金)	午後2時25分	5年	無
春日南小学校	9月10日(月)	午後2時45分	4年	有
春日西小学校	9月11日(火)	午後1時55分	3年	無
春日野小学校	9月14日(金)	午後1時50分	5年	有
春日東小学校	9月22日(土)	午前9時35分	2年	有
春日北小学校	10月27日(土)	午前11時	1年	無
日の出小学校	11月 13日(火)	午後2時20分	6年	有
白水小学校	11月22日(木)	午後3時	6年	有
春日小学校	12月 7日(金)	午後1時30分	1年	有
春日原小学校	12月13日(木)	午後1時10分	2年	無
須玖小学校	12月14日(金)	午後1時25分	3年	有
大谷小学校	平成31年1月17日(木)	午後2時40分	4年	有



平成31年4月に小学校に入学する子ども対象 就学時健康診断

問い合わせ先 学校教育課学校保健担当
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 1153

対象者には、詳しい内容を記載した案内を9月上旬までに送付します。

※当日は、就学に当たっての心配や悩みなどについての相談も受け付けます。

対象 平成24年4月2日～平成25年4月1日に生まれた人

受付時間 午後1時30分～2時15分

場所 各小学校の体育館または多目的ホール

健診項目 内科、歯科、視力、聴力、適性検査

持ってくるもの 母子健康手帳、上履き

日程・場所

日程	場所	日程	場所
9月27日(休)	春日原小学校	10月23日(火)	大谷小学校
9月28日(金)	春日南小学校	10月24日(水)	春日東小学校
10月 2日(火)	春日西小学校	10月30日(火)	天神山小学校
10月10日(水)	春日北小学校	10月31日(水)	須玖小学校
10月17日(水)	春日小学校	11月 1日(木)	春日野小学校
10月19日(金)	日の出小学校	11月 7日(水)	白水小学校

※車での来場はできません。



募集します 市介護保険運営協議会委員

応募・問い合わせ先 高齢課指定指導担当(〒816-8501春日市役所)
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 3090

介護保険事業計画の進み具合や、介護保険に関する重要な事項の調査・審議を行う「春日市介護保険運営協議会」の委員を募集します。

対象 市に居住する40歳以上の人(平成30年4月1日現在)

※現在、市の附属機関の委員になっている人や、市の附属機関の委員であった期間が通算して12年を超える人は除きます。

任期 10月1日～2021年9月30日(3年間)

募集人員 2人(書類選考)

応募方法 8月31日(金)(必着)までに、作文(「介護保険について」1,200字程度)に、住所、氏名、電話番号、性別、生年月日、職歴、活動経験、応募動機を書いて提出する(郵送可)



児童扶養手当受給世帯対象 JR通勤定期の割引引き

問い合わせ先 こども未来課母子児童担当(〒816-8501春日市役所)
☎ (584) 1111(代) **F** (584) 1115

児童扶養手当を受給している(児童扶養手当証書を交付されている)世帯の人が、JRの通勤定期を購入する場合に、3割引になる制度があります。

この制度を利用するためには、事前に特定者資格証明書の交付を申請する必要があります。

※通学定期は対象になりません。

申請方法 窓口に必要な書類を持参するか、市ウェブサイトから様式を入手し必要書類と併せて郵送する

申請に必要なもの

▷児童扶養手当証書(郵送の場合はコピー)

▷印鑑

▷申請用写真2枚(6カ月以内に撮影した縦2.5cm×横2cm、正面向き上半身脱帽のもの)

4地区合同で川をきれいに

牛頸川清掃と魚とり大会

7月16日、春日・惣利・平田台・塚原台の4地区自治会が協力して、牛頸川の清掃と子ども魚とり大会を行いました。

この日は、各地区の子ども会や協力団体など約1,000人が参加し、川沿いの草を刈ったりごみを拾ったりしました。清掃後に魚を放流。この日だけ特別に、子どもたちはきれいになった川に飛び込み、元気よく魚を追いかけました。



▲川や川沿いの清掃をする参加者

暴力団のいない安全安心なまちを目指して

暴力追放のための街頭啓発

7月11日、西鉄春日原駅前で、暴力追放事業体等筑紫地区協議会による街頭啓発が行われました。

これは、暴力団のいない安全安心なまちづくりのため、筑紫地区4市1町や警察署、郵便局など、関係機関が一体となって取り組みを行っているものです。暴力追放の横断幕を掲げ、通行する人にチラシなどを配布して啓発を行いました。



▲チラシなどを配布する井上市長

平成30年7月豪雨災害

復興支援のため被災地に市職員を派遣

平成30年7月豪雨災害の被災地支援として、市はこれまで、久留米市に職員を6人派遣しました。

このたび、愛媛県宇和島市にも県内各自治体から職員を派遣するため、7月25日、県庁で出発式が行われました。8月2日まで、避難所運営支援などに従事します。派遣される職員は「宇和島市の皆さんが、1日も早く平穏な生活ができるよう、力を尽くしてきます」と決意を述べました。



▲小川県知事(右)に決意を述べる市職員

地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

第68回「社会を明るくする運動」推進大会

7月14日、ふれあい文化センターで「社会を明るくする運動」推進大会が行われました。春日高校放送部が司会進行し、周りから支えられ犯罪から立ち直った人のドキュメントDVDの放映、春日東中ボランティア部の活動報告、春日西中吹奏楽部のアンサンブル演奏が行われました。また、各小学校代表が「社会を明るくするためにできること」をテーマにした作文を発表しました。



▲作文の発表をする各小学校代表児童

社会を明るくする運動



7月14日にふれあい文化センターで行った第68回「社会を明るくする運動」推進大会の一環として、市内の4小学校から募集した作文の優秀作品（原文のまま）を、4回にわたって紹介します。

優秀作品

「笑顔のバトン」

春日東小学校6年 ^{きら}吉良 ^{ちさと}知里



社会を明るくするために、今の私にできることはなにか、自分なりに考えてみた。

まず、私ができることとしては、ルールやマナーなどの規則を守ることだと思う。このようなものは、私たちの生活をより良いものにするために作られたのだから決して破ってはならないものだ。ちりも積もれば山となるように、どんなに小さなルールでも、自分ぐらい守らなくても、と考えずに、みんながきちんとルールを守れば、それは良い大きな力となって、明るい、安定した社会になると思う。しかし、逆に、小さなルールを、自分ぐらい守らなくても、とみんなが考えてしまうと、それは悪い大きな力となって、暗い、不安定な社会になると思う。具体的に言えば、飲酒運転、ポイ捨て、万引きなどだ。これらは、やってはいけないというルールが定められたものだ。ルールは破ってはいけないはずなのに、どうして破ってしまうのだろうか。理由の一つとして、うっかりやってしまったとか、ついついやってしまったなどというケースが挙げられる。それを防ぐには、何か行動をする前に、今からしようとしている行動は本当に正しいのか、ルールに反していないかをよく考えることが大切だと私は思う。

次に、私ができることとしては、やはり、人間関係を大切にすることだ。自分を大切に思ってくれる家族、友達、先生、親せきなどの人たちと、真剣に向き合っていくことが、今の私ができることだ。うれしいときは、その喜びをわかち合い、一緒に笑ったり、悲しいときは、その悲しみをわかち合い、一緒に涙をながしたりする人がきっと周りにはいるはずだ。その中で、ねたみやにくしみ、しつ

などが生まれ、明るく豊かだった人間関係がどんどんくずれていってしまう……。

人は誰でも感情をもつ。だからこそ、その感情を自分でうまくコントロールしなければいけない。それと同時に、周りの人がその人の心によりそい、暗やみから出してあげなければいけない。そんなふうには、みんなが思うようになれば、きっと社会は明るくなると私は思う。

今までの私は、社会のためにできることはなにかなんて、考えたこともなかった。この作文のおかげで、たくさん気づけたと思う。本当はしなくてはいけない、本当はしてはいけない、そういうことを、ついついやってしまうのが私たちの短所でもある。その短所をみんなでおおいき、正しいことは正しい、正しくないことは正しくない、と言える人が増えてくれば、素晴らしい世の中になっていくと私は思う。そして、今、犯罪や非行に走ってしまった人にも支援が必要だと思う。誰にでもまちがいはある。その失敗を社会全体が許してあげ、「こんな自分でも助けてくれる」と感じて、恩を返してくれる心が芽生える人が増えるかもしれない。私は、そんなふうには色んな人のことを受けいられるような心をもつように、日頃から意識していきたい。みんなで協力し、助け合って、世界中が明るくて、まぶしい笑顔につつまれていけば、きっと気持ちが暗かった人も、つられて笑いだす。そんなふうには、笑顔のバトンをつないでいって、みんなが笑顔で幸せな気持ちでたくさんになる日が来て、私たちが笑顔のバトンをつないでいく日が来ることを、私は願う。

イベント Event

**英語力の向上を目指して
第13回市中学生
英語暗唱・スピーチ大会**

日時 8月21日(火)

午後1時～

場所 ふれあい文化センターサ
ンホール

出場者 市立中学校の生徒

部門

▽課題の部：学年ごとに指定さ
れた課題文を、聞き手に伝わ
るように工夫しながら暗唱
▽フリーの部：英語による、自
由なテーマでのスピーチ

表彰

▽課題の部：学年ごとに最優秀
賞1人、優秀賞3人

▽フリーの部：最優秀賞1人、
優秀賞3人

問い合わせ先 学校教育課学校
教育担当

☎(584)1111(代)

📠(584)1153

健康 Health

**生活習慣病予防
脂質異常の改善に
脂質を下げる教室**

脂質異常による体への影響と

適切な脂質の質と量について学
びます。自分の生活を見直して
みませんか。
対象 次のいずれかに該当する
人

▽健診や病院の血液検査で、L
DLコレステロール値140

mg/dl以上

▽中性脂肪値150g/dl以上

日時 9月19日(火)

午前9時～午後1時

内容

▽市保健師による講義

▽市管理栄養士による講義

▽調理実習「あぶらを使わない
手作りカレーに挑戦！」

場所 いきいきプラザ

参加費 500円(材料費)

定員 20人(申込先着順)

持ってくるもの 血液検査の結
果、筆記用具、エプロン、三
角巾、手拭用タオル、飲み物、
電卓

申込方法 8月15日(水)～31日(金)
に、電話かファックスで氏名、
生年月日、電話番号、最新の
脂質データを伝える

申込・問い合わせ先 健康スポ
ーツ課成人保健担当

☎(501)1134

📠(501)0051

**ナギの木苑
60歳以上対象
体力測定**

「立ち上がる」、「歩く」などの
日常生活に必要な動作が難しく
なっていますか。足腰の筋力
低下が原因の一つかもしれません。
体力測定の結果に基づき、効
果的な運動プログラムをアドバ
イスします。

参加は無料ですが、施設利用
料(100円)が必要です。

対象 おおむね60歳以上の市民

日程 9月6日(水)

時間 午後1時30分～3時30分

(1人当たりの測定時間は30
分)

場所 老人福祉センターナギの
木苑

内容

▽体力測定(柔軟性・バランス
テスト・筋力測定など)

▽ロコモ度チェック(立ち上が
り脚力測定など)

▽結果説明(運動指導士による
助言・効果的な軽体操など)

定員 20人(申込先着順)

申込方法 電話、ファックス、
窓口のいずれかで住所、氏名、
年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 ナギの木
苑

☎(595)0513(📠兼用)



**カロリーングを楽しみませんか
ヘルスリーダーと
ニュースポーツ**

運動ボランティアであるヘル
スリーダーと、室内で手軽にカ
リーニングができるように考えら
れたニュースポーツを楽しみま
せんか。

簡単なルールと使いやすい用
具で、特別な技術も力もいらず、
誰でも手軽に楽しむことができ
ます。

運動ができる服装と靴で参加
してください。

日時 8月29日(水)

午前10時～正午(受付：午前
9時45分～)

集合場所 総合スポーツセンタ
ーサブアリーナ前

持ってくるもの 上靴、タオル、
飲み物

問い合わせ先 健康スポーツ課
健康増進担当

☎(501)1134

📠(501)0051

試験 Test

**願書受付は8月まで
平成30年度
行政書士試験**

試験日 11月11日(日)

試験会場 福岡工業大学(福岡
市東区和白東3-30-1)

受験願書受付期限

▽インターネット：8月28日(火)
の午後5時

▽郵送：8月31日(金)(消印有効)

合格発表日 平成31年1月30日

(※)

受験手数料 7000円

※試験案内など、詳しくはウエ
ブサイト(<https://gyosei-shiken.or.jp/>)を見てください。

申込・問い合わせ先 (二財)行
政書士試験研究センター

☎03(3263)7700



講演・講座 Lecture

ぶどうの庭石窯クラブ ダンボールオーブン作り ワークショップ参加者募集

段ボール箱でピザやパンが焼けるオーブンを作ります。ピザの試食もあります。

日時 9月2日(日)

午前10時～午後1時

場所 春日まちづくり支援センター・ぶどうの庭

参加費 1組(3人まで)1500円(ピザ1枚付き)

※ピザの追加は1枚500円です。

定員 5組(申込先着順)

申込方法 8月31日(金)までに、電話か窓口で申し込む

申込・問い合わせ先 同センター

1・ぶどうの庭

☎(589)3388

📠(589)3399



青少年健全育成講演会(無料)
ジャズチエリスト吉川よしひろさん
チエロ弾き語り

生まれながらにして片耳聴覚

障がいを抱え、独自に編み出した奏法で「宮沢賢治」の生きてきた道を語りかけます。

2005年、ニューヨークで開催された9・11追悼記念式典で「アメリカングレイセス」をソ

ロ演奏した奏者です。

日時 9月8日(土)

午後1時30分～3時(開場:午後1時)

場所 ふれあい文化センターサ

ンホール

演題 少年よ、逞しく生きよ!

定員 250人(申し込み不要)

問い合わせ先 市青少年育成市民会議(火・水・金曜日)の午

前9時～午後5時

☎(572)4602(☎兼用)

✉kasuga_asuka@outlook.com

**小売業などへの就業を目指すニア対象
仕事体験できます
販売・接客講習会(無料)**

対象 おおむね6歳以上の人

日時 9月26日(水)

午前10時～午後4時

場所 はかた近代ビル1階10

3会議室(福岡市博多区博多

駅東1-1-33)

内容

▽販売・接客の基礎知識・小売

店での仕事内容、仕事に必要な知識や技術など

▽おしごと模擬体験・接客のロールプレイング、レジ体験など

▽就職活動に役立つポイント・応募書類の書き方、面接を受ける際のポイントなど

※講習会終了後、個別相談を実施します(要申し込み)。

定員 30人(申込先着順)

申込方法 電話で申し込む

申込・問い合わせ先 県70歳現

役応援センター

☎(432)2540



春日ふるさと学級 公開講座(無料) 春日市の歴史を学ぼう

市の歴史に関わった人物について、分かりやすく学ぶことができます。公開講座です。

申し込みは不要です。

要約筆記、託児(午後6カ月

～3歳、1人300円、先着10

人、9月3日(月)の午後5時まで
に電話で申し込みもあります。

※託児は市内に居住する人を優先します。

日時 9月13日(木)

午後2時～4時

場所 ふれあい文化センター旧

館2階大会議室

講師 山田 稔さん(郷土史家、

入江史子さん(市郷土史研究

会会員)

申込・問い合わせ先 地域教育

課社会教育・読書推進担当

☎(575)4121

📠(593)7380

相談 Consultation

高齢者・障がい者対象 公証人OBが応じる 無料法律相談会

成年後見制度(法定後見、任意後見)や遺言、相続、財産管理、死後事務処理などの相談を受け付けます。

事前予約は不要です。

日時 9月11日(火)

午前10時～午後3時

場所 クローバープラザ504

研修室(原町3-1-7)

問い合わせ先 NPO法人高齢

者・障害者安心サポートネッ

ト筑紫出張所

☎(921)2130(☎兼用)



安全安心 ポイント

不審に思ったなら110番 未然に防ごう国際テロ

2019年はラグビーワールドカップ2019™日本大会など、国際的なイベントが各種開催されます。多数の人の集まる場所がテロの標的となることもありま

す。テロを未然に防止するためには、市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。

次のような人や物を発見したときや不審に思ったときは、迷わず110番通報してください。

▽周囲をつかがいながら公共施設の周囲を何度も往復する人

▽防犯カメラや警備員の配置位置を確認する人

▽駅、空港などが多く集まる場所に放置された荷物

問い合わせ先

▼安全安心課防犯安全担当

☎(707)1177

▼春日警察署安全安心まちづくり推進室

☎(580)0110

エコトピ

大切な地球を守るために

地球温暖化と生物

温暖化が進み、異常気象が多発するなど、地球環境は変化しています。

この変化は、これまで同じ地球上で共に暮らしてきた生物たちにも影響を及ぼしています。

▶ 1つの変化がさらなる変化を引き起こす

環境の変化により、これまでと異なる種が優勢になり、元々生息していた生物が生息地や食物を奪われ、絶滅の危機に瀕することもあります。

この変化が大きく広がっていけば、地域の気候自体を変えてしまうことにつながります。

▶ 温暖化の影響を受ける生物

ホッキョクグマは、その代表的な野生生物です。

主食はアザラシですが、氷が溶ける夏の間は狩りができないため、ほとんど何も食わずに過ごします。

このため、温暖化によって氷のない期間が長くなると、十分な食事ができず、弱ったり、繁殖できなくなったりします。

たった1つの生物でも絶滅すると生態系は変化します。

生物多様性を保全するためにも、環境への負荷を低減させる生活を心掛けましょう。

※参考ウェブサイト WWF ジャパン地球温暖化による野生生物への影響)(<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/286.html>)

問い合わせ先 環境課環境保全担当
☎(584) 1111(代) ☎(584) 1147

8月29日～9月4日
子どもの人権110番強化週間
無料相談

いじめや体罰、不登校や子どもの虐待など、子どもに関する人権問題の相談を、時間を拡大して受け付けます。

法務局職員と人権擁護委員が相談に応じます。秘密は厳守されますので、一人で悩まず相談してください。

相談時間
▽8月29日(水)～31日(金)、9月3日(月)・4日(火)
午前8時30分～午後7時
▽9月1日(土)・2日(日)
午前10時～午後5時

※強化週間以外は、午前8時30分～午後5時15分(時間外、土・日曜日、祝日は留守番電話対応)に受け付けています。

相談電話

☎0120(007)110

☎(739)4175(1P電話)

問い合わせ先 福岡法務局筑紫支局

支局

☎(922)2881

☎(922)3342



子育て Parenting

大人と同じ食材で作り方・進め方を学ぶ 離乳食教室

料理が苦手な人もこの機会に手作りに挑戦しませんか。託児(原則として生後5～8

カ月児、1人300円、先着15人、要申し込みもあります。

対象 生後5～8カ月の子どもの保護者

日時 9月26日(水)

午後1時30分～3時(受付：午後1時～)

内容 離乳食の進め方の講義、調理実習、試食

場所 いきいきプラザ

参加費 200円(実習材料費)

定員 20人(申込先着順)

持ってくるもの 母子健康手帳、エプロン、三角巾、手拭きタオル、筆記用具

申込方法 8月15日(水)～29日(水)に、電話かファックスで住所、氏名、電話番号、子どもの名前・性別・生年月日、託児の有無を伝える

申込・問い合わせ先 健康スポーツ課成人保健担当

1ツ課成人保健担当

☎(501)1134

☎(501)0051

親子で交流しましょう

参加しませんか

はじめまして♪あかちゃん

市内に居住する生後2～6カ月(平成30年3月～6月生まれ)の子どもとその保護者を対象にお出掛けデビューや友だちづくりを応援する教室を開催します。

月齢が近い子どもとの親子同士で、交流を楽しみませんか。

※2日間とも参加できる人で、初めて参加する子どもが対象です。

※きょうだい児の参加はできません(託児なし)。

日程 9月4日(火)・7日(金)

時間 午前10時30分～11時30分

場所 須玖児童センター

内容 親子あそび(タッチケアなど)、保護者同士の交流会、保育士による相談(希望者のみ)

定員 15組(申込先着順)

申込方法 8月16日(木)～31日(金)

の午前10時～午後6時に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで子どもの名前・生年月日、居住地区、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 こども未来課児童担当(須玖児童センター内)

☎(573)2431

☎(584)7739

✉ sugu-j@city.kasuga.fukuoka.jp

tukuokajp



**みんなで子育て
ファミサポが
おねがい会員説明会(無料)**

「子育ての手伝いをしてほしい人(おねがい会員)」「子育ての手伝いをしたい人(まかせて会員)」が支え合う「ファミリー・サポート・センターがすが」のおねがい会員になるための説明会を行います。

託児(3カ月以上、無料、先着20人)もあります。

※子どもとは同席できません。

日時 9月18日(木)
午前10時～正午

場所 いきいきプラザ3階視聴覚室(託児室は3階和室)

持ってくるもの 証明写真2枚(縦3cm、横2.5cm)、筆記用具

申込方法 8月15日(水)～31日(金)に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所、氏名、電話番号、託児の有無(有のときは、子どもの名前、生年月日)を伝える

申込・問い合わせ先 ファミリー・サポート・センターがすが事務局(いきいきプラザ内)

☎(584)7700

☎(501)0051

✉ famisapo@city.kasuga.tukuoka.jp



環境 Environment

**楽しく交流しよう
子どもエコクラブイベント
うどん作りや環境ゲーム**

「子どもエコクラブ」は、子どもたちが中心となって環境活動を行う全国的な事業で、市内では8クラブ496人の子どものちが活動しています。

同クラブの子どもたちと交流イベントを行います。

対象 市内に居住する3歳～高校3年生(小学生以下は保護者同伴)

※同クラブに登録していない人も参加できます。

日時 9月8日(土)
午前10時～午後1時

場所 ふれあい文化センター料理講習室

講師 篠原貴美恵さん(ふくおか環境マイスター)

材料費 300円

定員 15組30人程度(申込先着順)

申込方法 8月15日(水)～31日(金)に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所、電話番号、参加者全員の氏名・年齢を伝える

申込・問い合わせ先 環境課環境保全担当

☎(584)1111(代)

☎(584)1147

✉ kankyo@city.kasuga.tukuoka.jp

**受講経験者対象
ダンボールコンポスト
フォーアップ講習会**

堆肥作りや畑での使い方などを分かりやすく説明します。うまくいかずにやめてしまった人も、この機会にダンボールコンポストを再開してみませんか。

日時 9月12日(水)
午後1時30分～3時

場所 市役所4階407会議室

定員 20人(申込先着順)

持ってくるもの 筆記用具

申込方法 8月15日(水)～31日(金)に、電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所、氏名、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 環境課み減量担当

☎(584)1157

☎(584)1147

✉ gomigen@city.kasuga.tukuoka.jp

申込・問い合わせ先 環境課み減量担当

☎(584)1157

☎(584)1147

✉ gomigen@city.kasuga.tukuoka.jp



その他 etc

**9月28日に変更します
大和町地区
出前トーク「市長と語る」**

8月30日(木)に、大和町地区で開催を予定していた出前トーク「市長と語る」は、都合により日程を変更します。

新しい日程は次のとおりです。

日程 9月28日(金)
時間 午後7時～8時30分

場所 大和町地区公民館

問い合わせ先 秘書広報課広報広聴担当

☎(584)1111(代)

☎(584)1145

✉ koho@city.kasuga.tukuoka.jp

健康掲示板

健康スポーツ課成人保健担当
☎(501)1134
☎(501)0051

おやつで栄養補給

食生活改善推進員は、食に関するボランティア活動をしています。その活動の一つに3歳児健診での試食提供があります。

おやつは4回目の食事であることから、栄養補給になるおやつ(手作りふりかけ入りご飯)を提供しています。ご飯を詰めた容器を子どもたちが一生懸命に振って、手作りにぎりの完成です。

保護者には、ふりかけや簡単な味噌汁(みそ玉)のレシピを配布し、朝食やおやつ作りに役立ててもらおうようにしています。

家庭でも、子どもと一緒ににぎりやおかず作りに挑戦してみましよう。



相談窓口

※いずれも無料です。また、日時や場所など、変更になることがありますので、事前に問い合わせてください。

法律・生活・行政など

- 春日市無料法律相談 ☎(584)1148
第3水曜日(8月を除く)/10時～16時/市役所/
第1水曜日9時以降の平日に電話予約/先着15人
- 春日市消費生活相談 ☎(584)1155(☎兼用)
悪質商法・多重債務・金銭トラブルなど/
月～金曜日/10時～12時15分、13時～16時/じよなさん
- 定例行政相談 ☎(584)1111(代表)
国の行政に関すること/第4火曜日/10時～15時/市役所
- 福岡県交通事故相談所 ☎(643)3168 ☎(622)0403
月～金曜日/9時～17時(受付は16時まで)/福岡県庁

子育て・子どもの悩み、児童福祉

- 春日市子ども子育て相談センター ☎(584)1015 ☎(501)0051
月～金曜日/8時30分～17時/いきいきプラザ
- 児童虐待相談 児童相談所全国共通:189(いちいはやく)
- 福岡県福岡児童相談所 ☎(586)0023
月～金曜日/8時30分～17時15分/電話相談は24時間受付
- 養育費に関する電話相談 ☎(584)3931
月～金曜日/9時～17時/第1・3土、日曜日/9時～16時
福岡県ひとり親家庭等就業・自立支援センター(ひとり親サポートセンター)

高齢者の介護や福祉

- 北地域包括支援センター ☎(589)6227 ☎(589)6228
- 南地域包括支援センター ☎(595)8188 ☎(595)6069
月～金曜日/8時30分～17時

人権

- 定例人権(悩みごと)相談 ☎(584)1201(面談相談のみ)
第1火曜日(6月を除く)/10時～15時/市役所2階市民相談室(予約不要)
- 福岡法務局人権相談 ☎(922)2881
月～金曜日/8時30分～17時15分/福岡法務局筑紫支局

暴力・DV・セクハラの相談

- 春日市男女共同参画センター ☎(584)1202
月～金曜日/8時30分～17時/じよなさん
- ちくし女性ホットライン ☎(513)7335
月・水～金曜日12時～19時/
土曜日10時～17時(祝日、年末年始を除く)
- 福岡県あすばる女性相談ホットライン ☎(584)1266
月～日曜日/9時～17時(祝日を除く金曜日のみ18時～20時30分)/
福岡県男女共同参画センター(8月13～15日、年末年始を除く)

不安・悩みごと

- 福岡県警察本部犯罪被害者相談電話「ミズ・リリーフ・ライン」 ☎(632)7830
月～金曜日(祝日・年末年始除く)/9時～17時45分
- 心配ごと相談 ☎(581)7225
暮らしの問題や悩み/水曜日/13時～16時/市社会福祉センター
- 福岡いのちの電話 ☎(741)4343
さまざまな悩みや不安/24時間受付/匿名可/インターネット相談あり
(<http://www.inochinodenwa-net.jp>)



子育て通信

問い合わせ先 子育て支援課母子保健担当

☎(584)1015 ☎(501)0051

夏休み不慮の事故に注意

夏休みには、子どもと出掛ける頻度も増えると思います。そんな夏の頃は、不慮の事故に遭う可能性が増える時期でもあります。

平成29年度の子どもの死因で、不慮の事故は0歳が第3位、1～9歳が第2位でした。

子どもは水で遊ぶのが大好きですが、水に関する不慮の事故も多く発生しています。特に割合が多いのは、家庭の浴槽での事故です。溺れることを防ぐために、入浴後、浴槽の水は抜くようにし、浴室に子どもが一人で入らない工夫をしましょう。夏場に活躍するビニールプールも、使用していないときには水を抜くようにしましょう。たとえ水位が低くても、子どもは転んだ拍子に慌て、水を大量に飲み込んでしまい、窒息してしまうことがあります。

また、河川や海では、子どもだけでなく大人にも危険が及びます。泳げる人でも、水中では思いどおりに体が動かさず、流されてしまうことがあります。

河川・海での注意点

- ▷落とし物は、諦めるか大人を呼んで取ってもらうように子どもと話をしておく。
 - ▷誰かが溺れていたら助けを呼ぶ。絶対に助けようとして、水に入らない。
 - ▷使わなくても浮き輪を持っていく(救助にも使える空の大きなペットボトルも有効)。
 - ▷ガラスや貝殻などでけがしやすいので、はだしはなるべく避ける。
 - ▷保護者は子どもから目を離さないようにする(大人は2人以上で見守るのが理想的)。
- これらのことに気を付け、楽しい夏を過ごしましょう。

日頃の備えが大事です

かんほみち



この度、西日本豪雨によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われた皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。また、復旧作業をされている方々の安全を心よりお祈り申し上げます。▼今年2月に実施された災害や防災に関する調査では、生活者の災害全般に対する不安感が高まっている一方で、3割超の人が、避難所などを把握していないなど、防災意識に変化は見られませんでした。内閣府の調査でも、災害時の備蓄をしている人は50%にも達していません。さらに地域防災における生活者の自治会などに対する期待が高い一方で、日常的に自治会と意思疎通している人は少ない、とされています。▼私は先日、災害時の備蓄を準備し直しました。皆さんも、災害への備えを改めて見直してはいかがでしょうか。

⑧



みんなのでぐ住みよいまち をつくろう！

市には35の自治会があり、その地域の住民なら誰でも加入することができます。自治会連合会の4つの委員会(防犯・防災・環境・福祉、コミュニティ)ごとに活動や人物を紹介します。

みんなで知恵を出し合う 校区别自治会役員研修会

市自治会連合会では、毎年、中学校区ごとに、各地区の役員が集まって自治会活動や地域課題について話し合い、情報交換を行う、校区别自治会役員研修会を開催しています。

この研修会は、単独の自治会だけでは困難な事柄について、さまざまな視点から知恵を出し合い、課題解決に向けて意見交換を行う大切な場となっています。

7月1日、春日西中学校区の研修会が開催されました。4つの委員会の中のコミュニティ委員会では、自治会加入促進などについて話し合いました。引越など、新しく住民となった人に地域活動に参加してもらうための工夫として、地区活動についての広報

ファイルの配布などの取り組みが報告されました。

参加者からは、「全ての地区が同じではなく、地域の特性に合わせた活動の仕組みや改善が大切だ」という意見が出されるなど、今後の自治会活動への思いを共有しました。

各自治会では、役員などが中心となり、それぞれに工夫を凝らし、住民同士の交流を深めるための取り組みを行っています。



▲コミュニティ委員会の話し合い



問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当 ☎(584) 1111(代) ☎(584) 1153